

**平成18年1月期
中間期
決算概況**

**株式会社 ACCESS
平成17年9月14日**



本資料についての注意点

- 本資料に含まれる業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであります。
- 将来数値には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して投資等の判断を行なうことは差し控えてください。



本決算のポイント

- * **連結業績は、売上高6,040百万円、経常利益1,042百万円**
 - ・ 連結各子会社は、概ね、経常利益ベースで予想を上回る結果となった。
 - ・ 単体は、製品、ロイヤリティーともに売上高が予想を上回り、販管費が予想の範囲内に収まったことにより、大幅な黒字化を達成。

- * **単体業績は、売上高4,905百万円、経常利益1,074百万円**
 - ・ FOMA、受託開発が好調に推移したことで、売上高は予想を上回った。
 - ・ 販管費は、前年同期比より増加したものの、適切な予実コントロールにより、予想の範囲内で収まった。

- * **単体の売上構成におけるロイヤリティー比率は、43%となり、僅かであるが、比率を改善した。（前年通期41%）**

第2四半期（5月～7月）のハイライト

連結

(百万円)	実績	予想レンジ	前年同期	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ン ト
売上高	3,078	2,900 ~ 3,100	2,304	・ASE: 欧州での国際i-modeの売上寄与は、前期並みに想定。	・欧州での国際i-modeの普及度合、他の携帯メーカーの普及度合。	・連結各子会社は、概ね、経常利益ベースで予想を上回る結果となった。
営業利益	326	450 ~ 550	146	・ASC: チャイナ・ユニコム案件の売上寄与は、前期並みに想定。		
経常利益	326	450 ~ 550	166	・AP: デジタルコンテンツ売上は、前期より若干増と想定。	・中国でのMMSサービスの普及度合。	
当期純利益	223	250 ~ 330	129		・デジタルコンテンツの売上寄与の時期。	

単 体

(百万円)	実績	予想レンジ	前年同期	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ン ト
売上高	2,502	2,300 ~ 2,500	1,889	・売上構成比(通期予想) 製品: ロイヤリティー = 59:41	・3G端末を中心とした携帯電話の新機種による当社ロイヤリティー収入への影響。	・単体は、製品、ロイヤリティーともに売上高が予想を上回り、販管費は、前年同期比より増加したものの、適切な予算コントロールにより、
営業利益	324	450 ~ 550	212	・製品粗利率(通期予想) 42~46%		予想の範囲内で収まった。
経常利益	328	450 ~ 550	232	・売上高販管費比率(通期予想) 34%	・新規顧客獲得による製品粗利益率の低下。	・売上構成比(2Q実績) 製品: ロイヤリティー = 59:41
当期純利益	184	250 ~ 330	256			・製品粗利率(2Q実績) 31%
						・売上高販管費比率(2Q実績) 45%

中間期（2月～7月）のハイライト

連結

(百万円)	実績	予想レンジ	前年同期	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ン ト
売上高	6,040	5,390 ~ 5,750	5,040	・ASE:欧州での国際i-modeの売上寄与は、前期並みに想定。	・欧州での国際i-modeの普及度合、他の携帯メーカーの普及度合	・連結各子会社は、概ね、経常利益ベースで予想を上回る結果となった。
営業利益	1,006		698	・ASC:チャイナ・ユコム案件の売上寄与は、前期並みに想定。	・中国でのMMSサービスの普及度合。	
経常利益	1,042	770 ~ 900	736	・AP:デジタルコンテンツ売上は、前期より若干増と想定。	・デジタルコンテンツの売上寄与の時期。	
当期純利益	627	430 ~ 500	442			

単 体

(百万円)	実績	予想レンジ	前年同期	想 定	未 確 定 要 素	コ メ ン ト
売上高	4,905	4,280 ~ 4,520	3,967	・売上構成比(通期予想) 製品:ロイヤリティー=59:41	・3G端末を中心とした携帯電話の新機種による当社	・単体は、製品、ロイヤリティーともに売上高が予想を上回り、販管費は、
営業利益	1,036		655	・製品粗利率(通期予想) 42~46%	ロイヤリティー収入への影響。	前年同期比より増加したものの、適切な予算コントロールにより、
経常利益	1,074	880 ~ 1020	696	・売上高販管費比率(通期予想) 34%	・新規顧客獲得による製品粗利率の低下。	予想の範囲内で収まった。
当期純利益	615	500 ~ 580	493			・売上構成比(中間期実績) 製品:ロイヤリティー=57:43
						・製品粗利率(中間期実績) 38%
						・売上高販管費比率(中間期実績) 42%

連結決算ハイライト（第2四半期・中間期）

連結対象会社：連結子会社13社、持分法適用関連会社1社

（百万円）	第2四半期 （当期）	第2四半期 （前年同期）	前年 同期比	中間期 （当期）	中間期 （前年同期）	前年 同期比	前年通期	前年 通期比
売上高	3,078	2,304	33.6%	6,040	5,040	19.9%	11,347	53.2%
売上総利益	1,692	1,303	29.8%	3,564	2,864	24.4%	6,623	53.8%
販管費	1,365	1,156	18.0%	2,557	2,165	18.1%	4,351	58.8%
営業損益	326	146	123.0%	1,006	698	44.1%	2,272	44.3%
営業外損益	0	20	-	36	37	-	14	-
経常損益	326	166	95.7%	1,042	736	41.6%	2,258	46.2%
特別損益	27	63	-	26	49	-	101	-
法人税等	75	100	-	388	342	-	815	-
当期純損益	223	129	73.1%	627	442	41.8%	1,567	40.1%

連結各子会社の業績（第2四半期：5月-7月）

ASE：アクセス・システムズ・ヨーロッパ・ゲー・エム・ベー・ハー
 ASC：アクセス・チャイナ・インク
 AH：株式会社ACCESS北海道
 AP：株式会社アクセス・パブリッシング
 CV：シーバレー・インク
 RZ：レッドゼロ・インク

（百万円）	ACCESS	ASE	ASC	AH	AP	CV	RZ	修正	連結合計
売上高	2,502	219	134	36	317	9	3	144	3,078
売上総利益	1,463	262	78	12	112	28	2	211	1,692
販管費	1,139	253	53	3	98	5	25	212	1,365
営業損益	324	8	25	9	14	33	22	1	326
営業外損益	4	17	0	-	0	0	2	20	0
経常損益	328	25	25	9	14	33	24	18	326
特別損益	11	0	-	0	-	-	-	15	27
法人税等	132	0	-	0	0	0	-	58	75
当期純損益	184	24	25	9	14	33	24	24	223

連結各子会社の業績（中間期：2月-7月）

ASE：アクセス・システムズ・ヨーロッパ・ゲー・エム・ベー・ハー

ASC：アクセス・チャイナ・インク

AH：株式会社ACCESS北海道

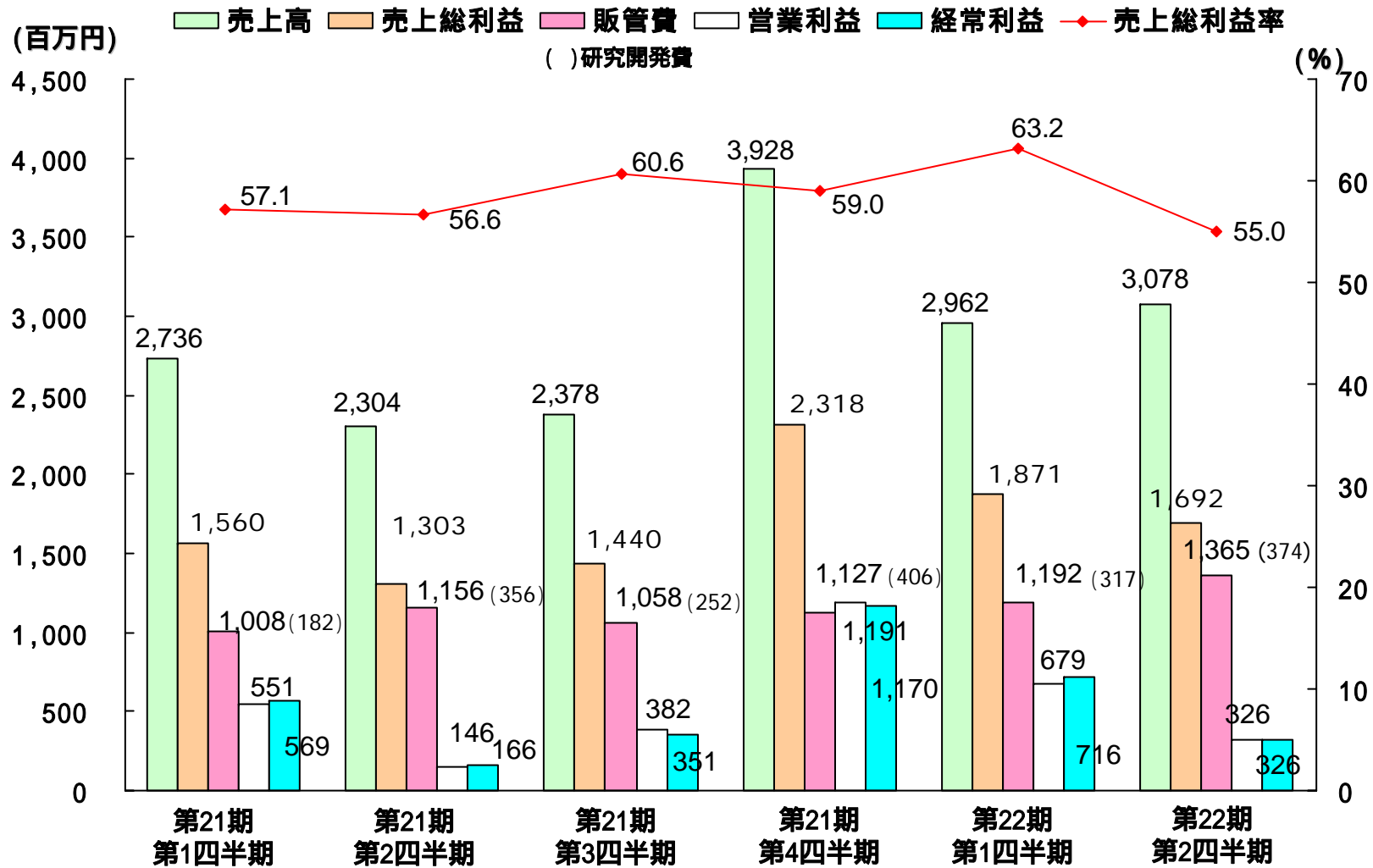
AP：株式会社アクセス・パブリッシング

CV：シーバレー・インク

RZ：レッドゼロ・インク

（百万円）	ACCESS	ASE	ASC	AH	AP	CV	RZ	修正	連結合計
売上高	4,905	516	228	63	569	12	3	257	6,040
売上総利益	3,115	479	127	21	182	26	2	339	3,564
販管費	2,078	444	87	5	192	41	59	351	2,557
営業損益	1,036	35	40	16	9	67	56	11	1,006
営業外損益	37	30	1	0	0	0	0	32	36
経常損益	1,074	65	41	16	9	68	55	20	1,042
特別損益	35	0	-	0	-	-	-	9	26
法人税等	423	1	-	0	0	0	-	36	388
当期純損益	615	64	41	15	10	68	55	25	627

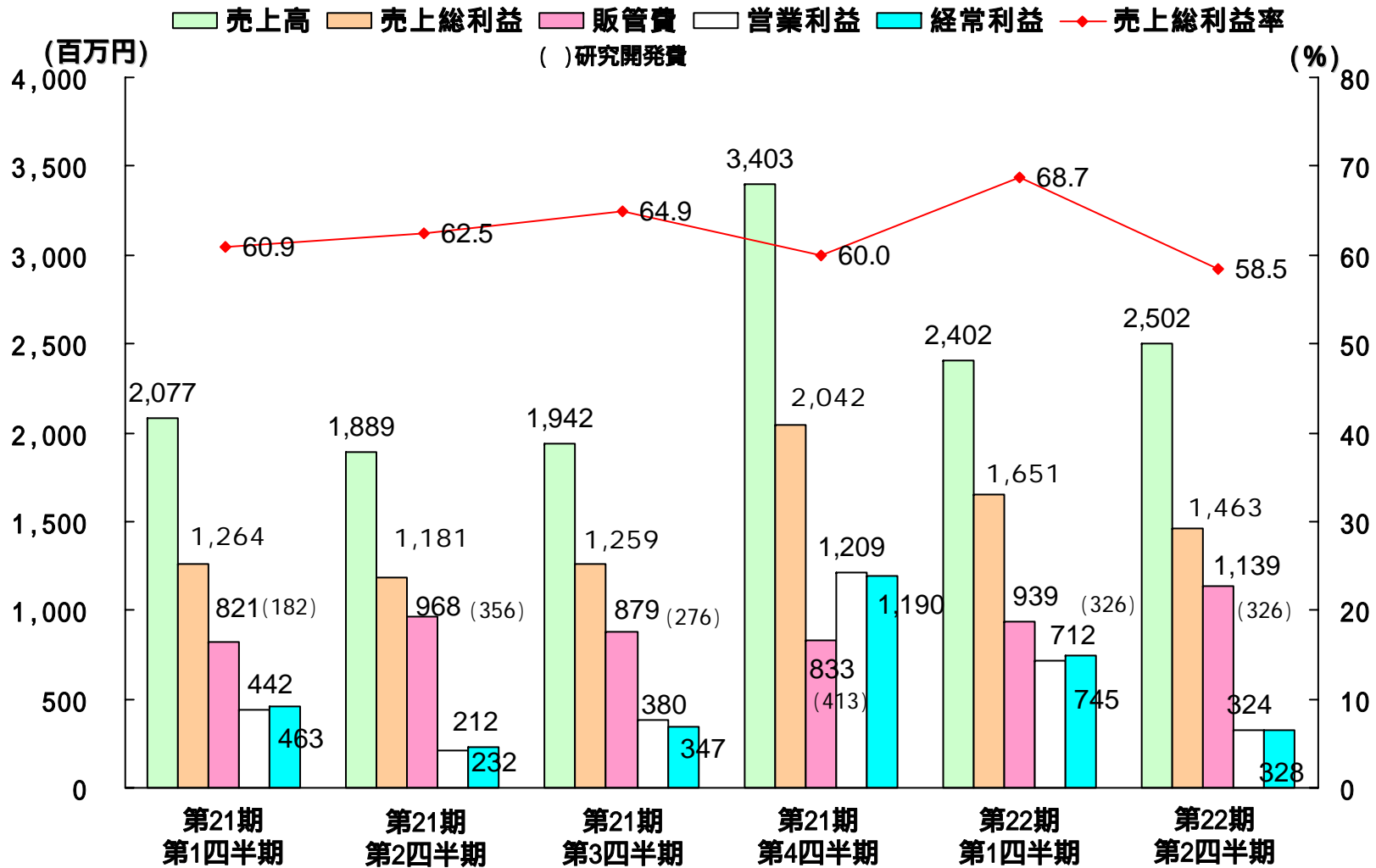
四半期毎の売上高等の推移（連結）



単体決算ハイライト（第2四半期・中間期）

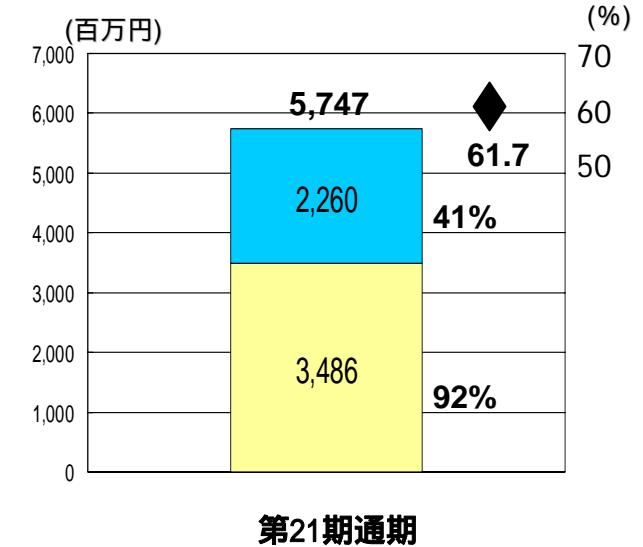
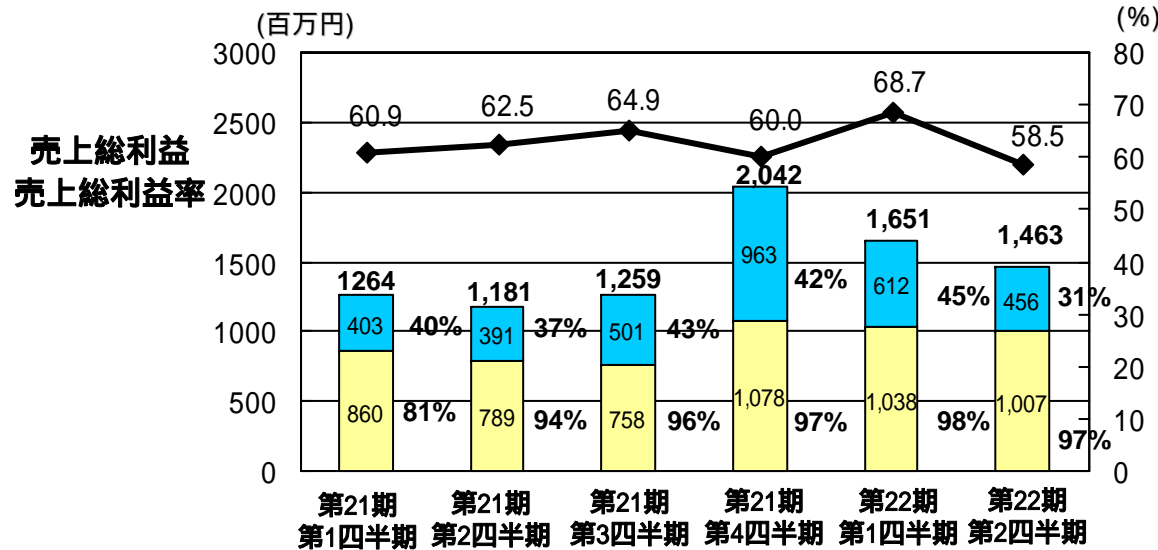
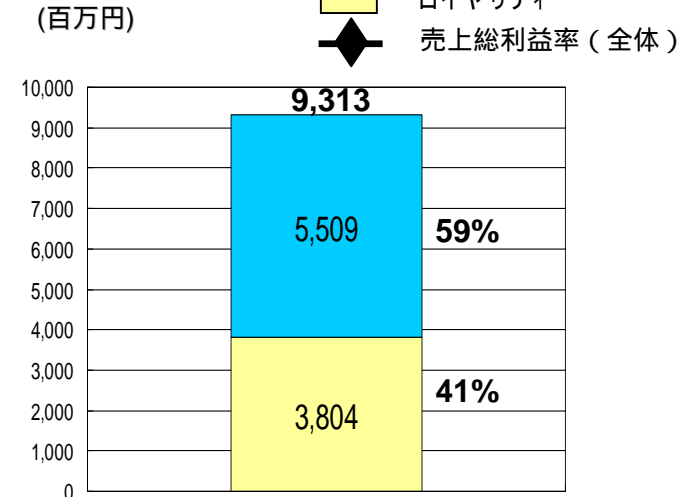
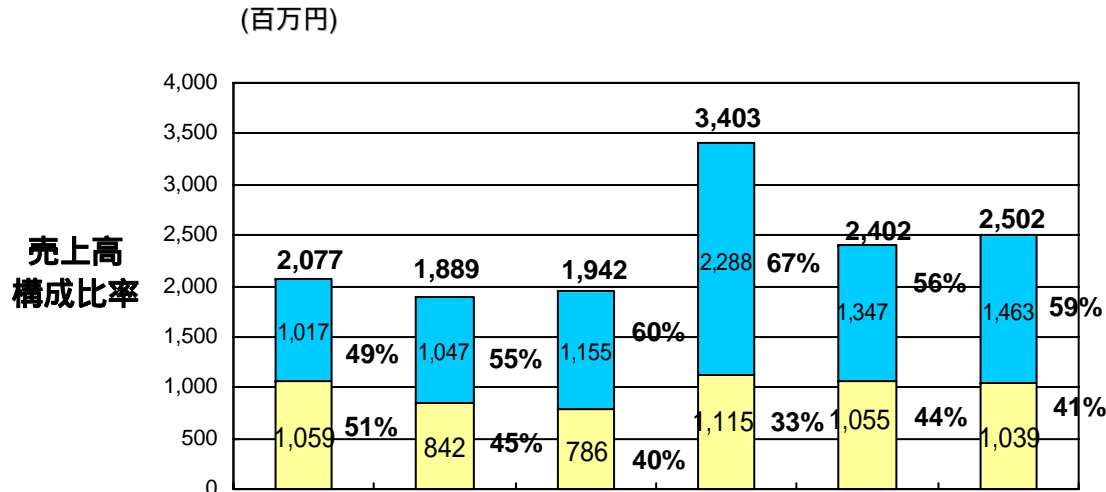
（百万円）	第2四半期 （当期）	第2四半期 （前年同期）	前年 同期比	中間期 （当期）	中間期 （前年同期）	前年 同期比	前年通期	前年 通期比
売上高	2,502	1,889	32.4%	4,905	3,967	23.7%	9,313	52.7%
売上総利益	1,463	1,181	23.9%	3,115	2,445	27.4%	5,747	54.2%
売上総利益率	58.5%	62.5%	-	63.5%	61.6%	-	61.7%	-
販管費	1,139	968	17.6%	2,078	1,789	16.1%	3,502	59.3%
営業損益	324	212	52.6%	1,036	655	58.2%	2,244	46.2%
営業外損益	4	19	-	37	41	-	10	-
経常損益	328	232	41.5%	1,074	696	54.3%	2,234	48.1%
特別損益	11	168	-	35	169	-	124	-
法人税等	132	144	-	423	371	-	838	-
当期純損益	184	256	-28.1%	615	493	24.6%	1,271	48.4%

四半期毎の売上高等の推移（単体）



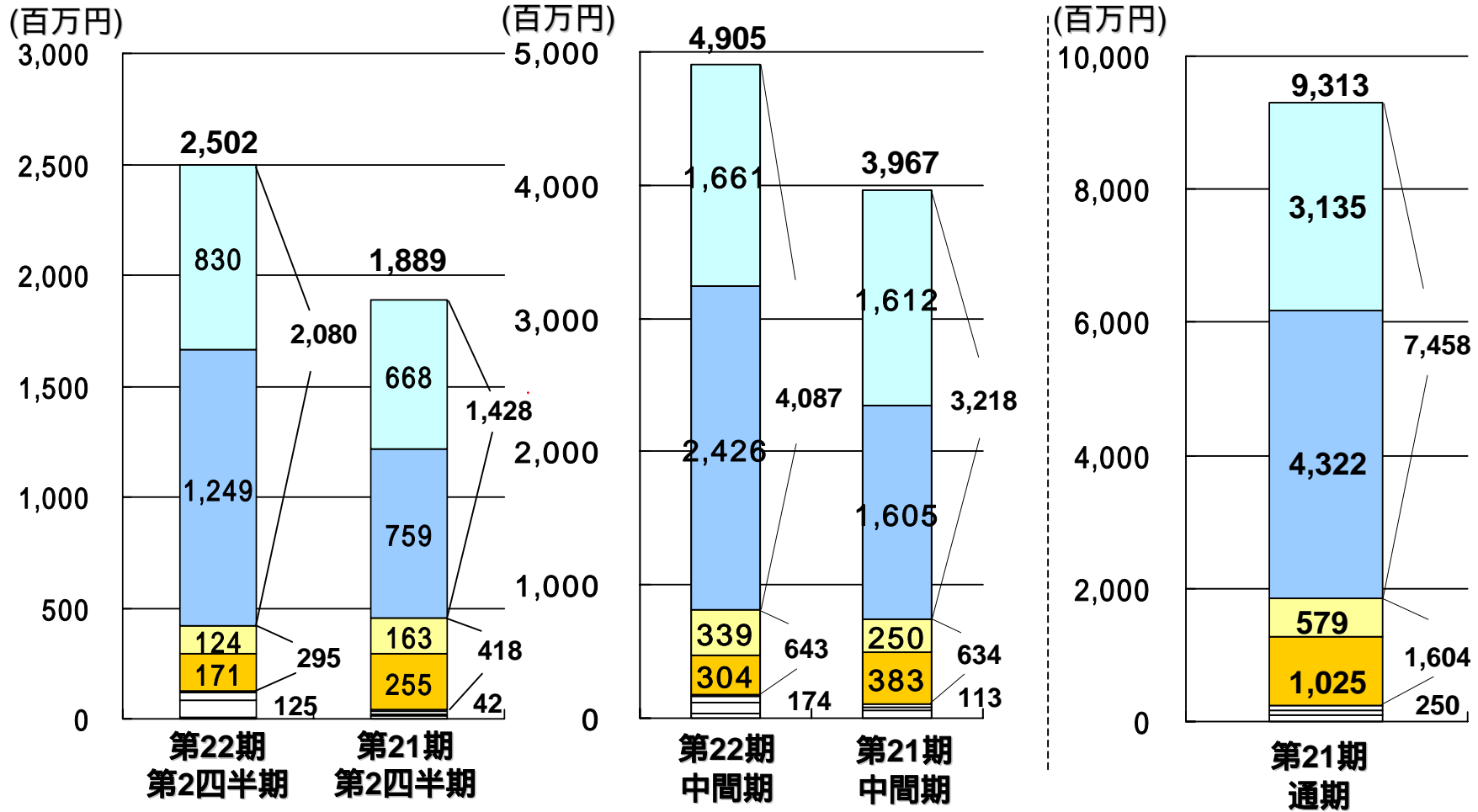
売上高・売上総利益の推移（単体）

■ 製品売上
■ ロイヤリティー
◆ 売上総利益率（全体）

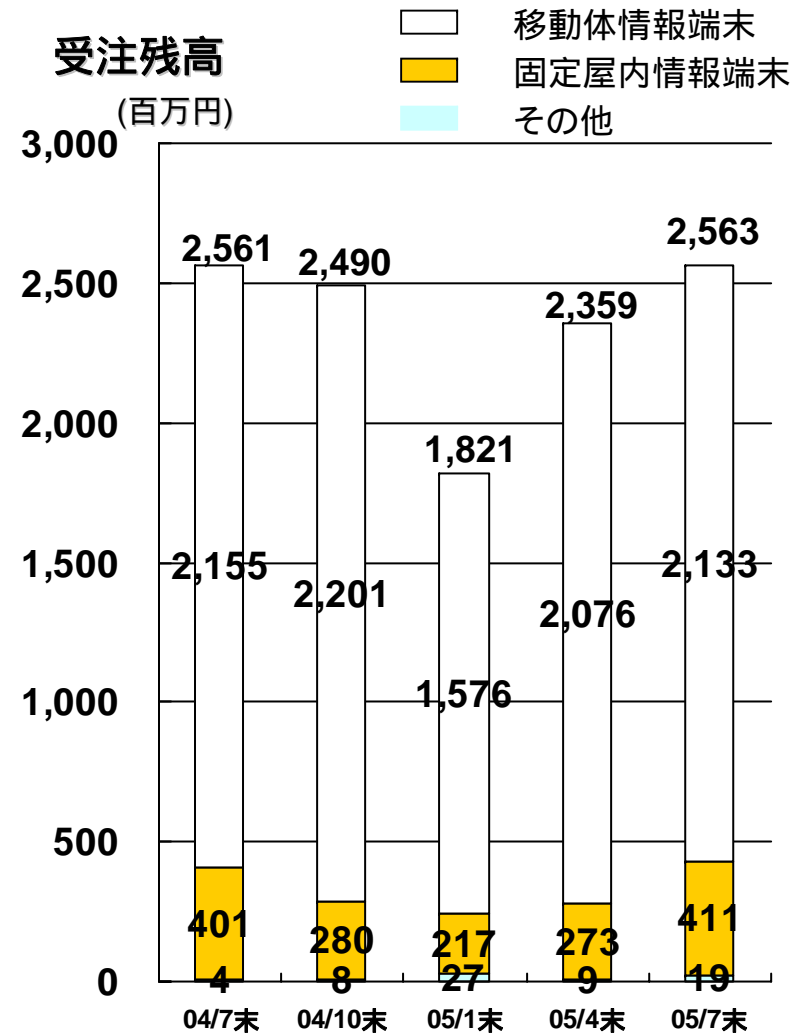
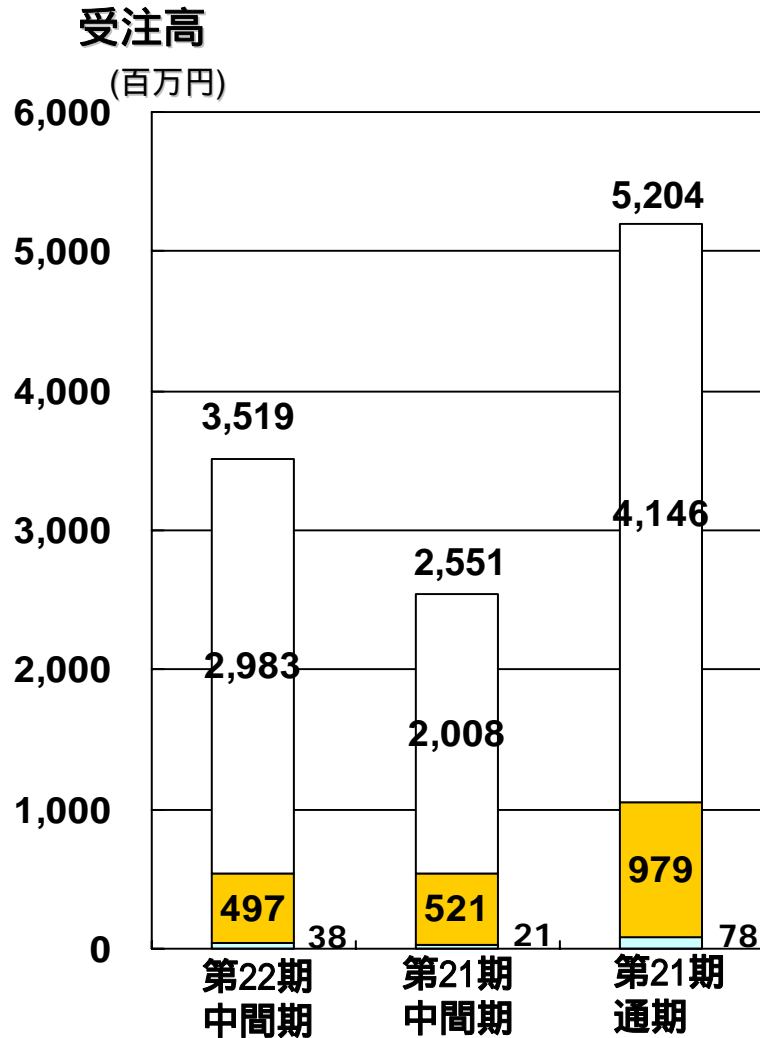


各売上高の内訳（単体：第2四半期・中間期）

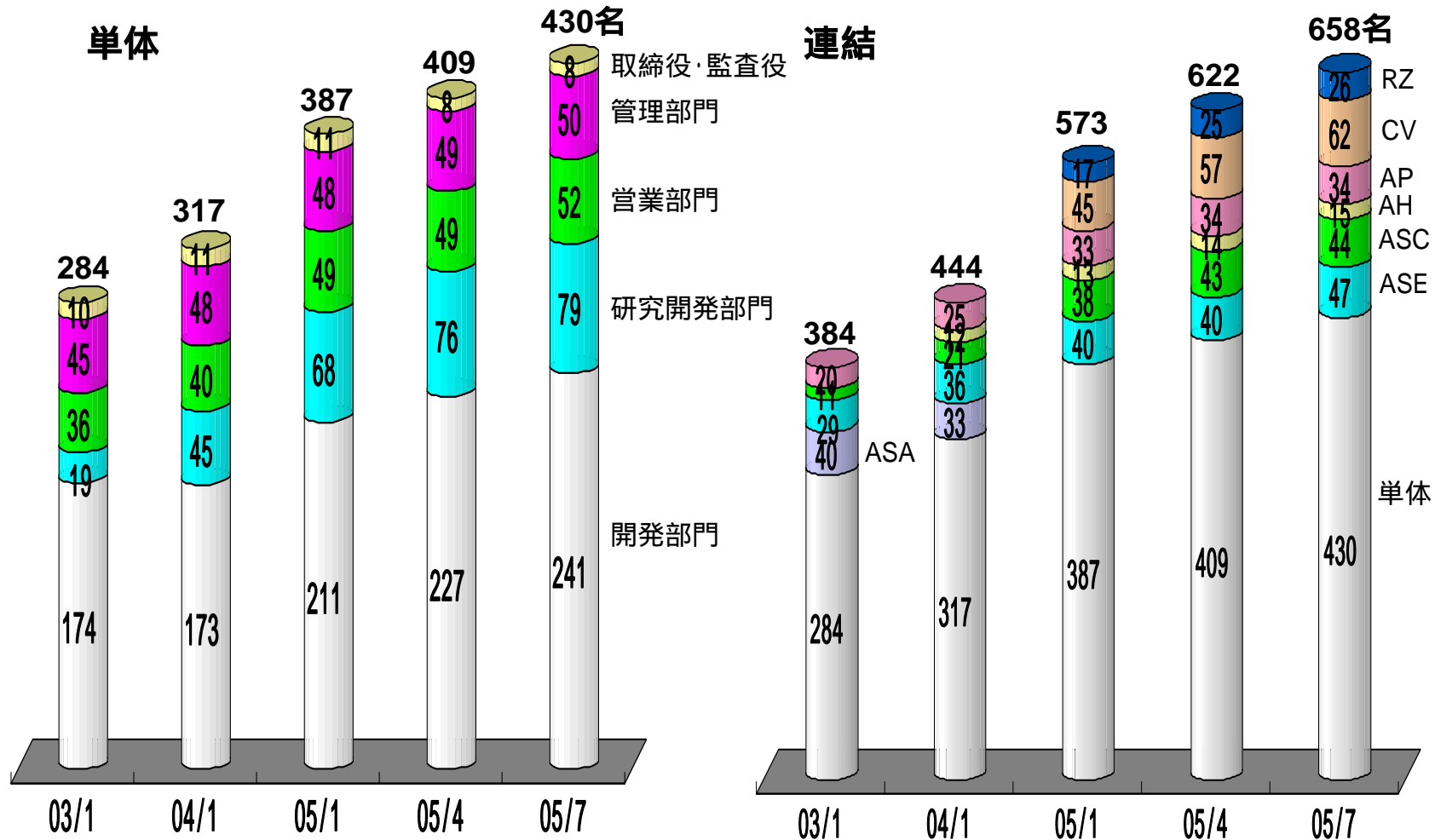
- 移動体情報端末(ロイヤリティー)
- 移動体情報端末(製品)
- 固定屋内情報端末(ロイヤリティー)
- 固定屋内情報端末(製品)
- 基盤開発・受託開発・その他(ロイヤリティー+製品)



受託開発の受注状況（単体）



従業員の推移（単体・連結）



連結貸借対照表（要約）

（百万円）	第22期中間期末	第21期中間期末	第21期期末
・ 流動資産			
現金・預金	58,217	6,761	7,460
売上債権	2,982	1,720	3,100
たな卸資産	927	825	691
その他	575	329	549
・ 固定資産			
有形固定資産	843	714	729
無形固定資産	536	575	602
投資その他の資産	723	739	467
合 計	64,806	11,665	13,601
・ 流動負債	2,369	1,642	1,984
・ 固定負債	42,155	109	110
少数株主持分	132	2	168
・ 自己資本	20,148	9,911	11,337
合 計	64,806	11,665	13,601

単体貸借対照表（要約）

（百万円）	第22期中間期末	第21期中間期末	第21期期末
・ 流動資産			
現金・預金	57,281	6,100	6,494
売上債権	2,686	1,482	2,855
たな卸資産	817	794	577
その他	553	334	468
・ 固定資産			
有形固定資産	714	655	625
無形固定資産	389	447	433
投資その他の資産	1,760	1,519	1,505
合 計	64,202	11,334	12,960
・ 流動負債	1,620	824	1,240
・ 固定負債	42,305	109	250
・ 自己資本	20,277	10,400	11,469
合 計	64,202	11,334	12,960

連結キャッシュ・フローの状況(要約)

(百万円)	第22期 中間期	第21期 中間期	第21期 通期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	978	1,394	1,489
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	932	211	38
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	50,192	620	1,067
IV. 現金及び現金同等物 増加	50,251	1,814	2,516
V. 現金及び現金同等物 期首残高	6,621	4,105	4,105
VI. 現金及び現金同等物 期末残高	56,873	5,920	6,621

税金等調整前当期純利益: 1,016百万円	新株予約権付社債の発行による収入: 50,000百万円	株式発行による収入: 572百万円	株式発行による収入: 864百万円
定期預金の預入による支出: 502百万円 有形・無形固定資産の取得: 183百万円	税金等調整前当期純利益: 785百万円 売上債権の減少: 647百万円	有形・無形固定資産の取得: 245百万円	税金等調整前当期純利益: 2,359百万円 売上債権の増加: 726百万円

第3四半期(8月～10月)のガイドライン

連結

(百万円)	レンジ		想 定	未 確 定 要 素
	当四半期	(前年同期)		
売上高	3,090 ~ 3,490	(2,378)	・ASE:欧州での国際i-modeの売上寄与は、前期並みに想定。	・欧州での国際i-modeの普及度合、他の携帯メーカーの普及度合。
営業利益	110 ~ 270	(382)	・ASC:チャイナ・ユニコム案件の売上寄与は、前期並みに想定。	・中国でのMMSサービスの普及度合。
経常利益	50 ~ 210	(351)	・AP:デジタルコンテンツ売上は、前期より若干増と想定。	・デジタルコンテンツの売上寄与の時期。
当期純利益	30 ~ 130	(206)		

単 体

(百万円)	レンジ		想 定	未 確 定 要 素
	当四半期	(前年同期)		
売上高	2,530 ~ 2,830	(1,942)	・売上構成比(通期予想) 製品:ロイヤリティー = 59:41	・3G端末を中心とした携帯電話の新機種による当社ロイヤリティー収入への影響。
営業利益	140 ~ 300	(380)	・製品粗利率(通期予想) 38~40%	・新規顧客獲得による製品粗利率の低下。
経常利益	90 ~ 250	(347)	・売上高販管費比率(通期予想) 40%	
当期純利益	50 ~ 150	(200)		

注記:連結・単体業績ともに、期初に想定していなかった費用である新株予約権付社債に関する費用および先般、実施したM&A関連費用を、第3四半期で、以下の通り、見込んでおります。

新株予約権付社債に関する費用:約110百万円、M&A関連費用:約100百万円
(第2四半期実績として、新株予約権付社債に関する費用:約60百万円)